

# ONCC 第 13 期生

## けいはんなリフレッシュウオーク 3 A 班

### 藤原宮跡 と おふさ観音

探訪日：2025 年 10 月 10 日(金) 、時間：集合 9 時 30 分～解散 13 時頃

場 所：奈良県橿原市( 藤原京跡 )

天 候：曇り

ガイド：橿原市観光ボランティアガイド

午前 9 時 30 分に近鉄畝傍御陵前駅東改札口に集合し、CA さんから本日の予定・注意事項の説明を受けた後、各班毎にガイドさんと共に出発しました。

本日の探訪コースは、「近鉄畝傍御陵前駅」⇒「本薬師寺跡」⇒「藤原宮跡」⇒「藤原京資料室」⇒「おふさ観音」⇒「近鉄大和八木駅」のルートで散策しました。



#### 【本薬師寺跡(もとやくしじ)】

現在奈良市の西の京にある薬師寺の前身にあたる寺です。天武天皇が後の持統天皇である皇后の病氣平癒のため祈願して、天武 9 年(680 年)に薬師如来を本尊とする寺の建立に着手。完成しないうちに天武天皇が崩御したので、持統天皇がその意思を継いで完成させました。

当時は、金堂や東西に二つの塔がありました。平城遷都に伴って寺は伽藍ともども西の京へ移築されたと言われていましたが、別々に造られたという説が有力です。それ以来、この寺は本薬師寺と呼ばれるようになりました。

いま、寺には小堂が建っているばかりですが、前庭にあたる跡地には金堂の礎石や東西両塔の上壇、塔の心礎などが残されています

### 【藤原宮跡(ふじわらきゅうせき)】

藤原宮跡は、今から約 1300 年前、持統・文武・元明の三代の天皇が治めた都、藤原京(694～710)の中心にあった宮殿・藤原宮のあったところです。

藤原宮跡は昭和 27 年に国の特別史跡に指定されており、また藤原宮跡が構成資産のひとつである「飛鳥・藤原の宮都」は、人類史上でも価値の高い文化遺産として、世界遺産の登録を目指しています。

とにかく広がった。



### 【藤原京資料室】

当室は、令和 8 年の世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」の構成資産「特別史跡藤原宮跡」をより理解して頂くことを目的に、平成 18 年 10 月、JA ならけん櫃原東部経済センター2 階に開設しました。展示コーナーでは、「飛鳥・藤原の宮都」の構成資産の写真・解説パネル、横幅約 7 メートルもの大きさの藤原京の 1,000 分の 1 復元模型や、柱や瓦といった出土品を展示しています。映像コーナーでは、時間の都合によりゆっくり鑑賞出来なかった。

入場料は、無料です。

### 【おふさ観音】

四季折々のお花がたのしめる、おふさ観音。お花でいっぱいの美しい境内は、調和のとれた仏像の世界のようであることから、「花まんだらのお寺」とも呼ばれています。

現在、「提灯まつり(10月7日～6月23日)」が開催されています。提灯は暗闇を照らすことから古来より魔除け・厄除けの意味でも用いられています。世の中を明るく照らしたいとの願いを込めて境内に飾られた 1000 個以上の様々な提灯が楽しめます。

期間中、毎月数回夜間拝観ライトアップが開催され、幻想的な灯りで満たされる境内が楽しめるとのこと。



おふさ観音の前の道は「長寿道」と呼ばれており、参加者の皆さん長寿万歳です。

おふさ観音から 20 分ほどで近鉄大和八木駅です。

今日は、そんなにも暑くなく散策できました。

ボランティアガイドの皆様には、大変お世話になりました。

ありがとうございました。

企画・実施いただいた CA の方々お疲れ様でした。ありがとうございました。

解散後、全員揃って昼食をとり疲れを癒やしました。

— ブログ担当：3 班 —